

Vol.7
2019

ほっOT!



広報部 一般広報委員会「ほっOT!」対談

馴れ親しんだ作業で 生活を豊かに

『認知症出前講座』承ります！

第29回東北作業療法学会
地域共生社会に向けて
～みんなで創ろう、支え合う地域～

山形県内で働く作業療法士を紹介します

わたしの町の作業療法士

私にとって作業療法とは…





広報部 一般広報委員会「ほっOT!」対談

馴れ親しんだ作業で生活を豊かに

今回は施設に入所しながらリハビリテーションを利用しているYさんと、Yさんの作業療法を担当している作業療法士の山内菜摘さんを交えて対談させていただきました。入所当初はベッド上で横になっていることが多かったというYさんでしたが、作業療法場面での野菜の栽培活動を通し、少しずつ元気を取り戻すことができました。今では施設スタッフや他の入居者の方々と談笑しながら生きいきとした生活を送っているようです。

(聞き手:大沼 和之 以下OTRと記載します。)

OTR 今日はいろいろな話を聞かせていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

Yさん 山内さん よろしくお願ひします。

OTR まず、Yさんは、こちらの施設で生活を送られてどのくらいになるんでしょうか？

Yさん しばらくになりました～、ここさ入ってから。んで、この菜摘ちゃんと一緒に話して友達になって、親友になったんです。菜摘ちゃんと友達になって幸せです。

山内さん 私も幸せだ～。(笑)

OTR お二人ともとても仲が良さそうですね。入居当時のYさんはどのような様子だったのでしょうか？

山内さん 当初のYさんはあまり起きたがらなくてほとんどベッド上にいることが多かったです。食事と入浴の時だけ起きて、食事もほとんど残していましたね。そこから作業療法の時間にプランターで栽培活動を始めて、少しずつリハビリ室やホールに出るようになりました。

OTR どのようなきっかけで栽培活動を始めることになったんでしょうか？

山内さん もともとYさんが農家だったという話をしてくれたから、それをきっかけに始めてみることにしたんです。

Yさん 菜摘ちゃんがプランターやってでの。様々なもん植えてんでしょう。そんなのを見せてもらったり、聞かせてもらったり、私も話して。

OTR Yさんにとって、栽培活動はとても馴染みのある作業活動だったんですね。

Yさん んだ。うちは実家が農家やってて。んでの、そこで働いてきたもんだから足はともかく手がの、節々が大きいわけだ。恥ずかしいけど。(笑)

一同 (笑)

山内さん Yさん頑張ったんですね。

OTR とてもよく働いたんですね。



Yさん うちでは田んぼと畑。畑にはかぼちゃとか大根、人参、そしていろんな芋類を植えて。家にいるときは自家用として食べてました。

山内さん なんかYさん、人参嫌いだって言ってませんでしたか？

Yさん うん、最近の、好きになって食べるようになったなー。

山内さん あ、今は人参食べられるんですね。

Yさん うん、食べられるようになりましたー。(笑)

山内さん 最初の頃、人参植えようか？って喋ってて、でもほら、Yさん人参嫌いだって言うから…。

Yさん (人参) 食べるー、食べさせてー。(笑)

一同 (笑)

山内さん それで、結局最初は菜っ葉類を植えたんですね。簡単に育つて言うからね。

Yさん 菜摘ちゃん達とても上手で。なんでもできるもの。

山内さん いやいや、Yさんに教えてもらわなかったらできなかったです。蒔き方とか間引きも教えてもらって一緒にやりましたね。

Yさん んだ、そして先生方にご馳走したりして。

山内さん 甘酢漬けしたものが美味しいっていうのをYさんに教えてもらって。

Yさん 先生方も喜んでました。ごっつおだって。今は先生方もみんなお友達になっての、私も喜んです。

OTR それは素晴らしいですね。今後は何か植える予定はあるんでしょうか？

山内さん Yさん、今度はなにを植えるといいでしょうね？

Yさん 今度、人参なんか植えっか？

山内さん え、いいんですか？人参します？(笑)

Yさん うん。(笑)

一同 (笑)

OTR 栽培という馴染みの作業活動を通して、Yさん自身の生活がとても充実したものになっているように感じますね。今年は人参がんばってください。

Yさん 菜摘ちゃんに応援してもらって、プランターも一緒になって一生懸命頑張ります。

OTR ありがとうございました。

『認知症出前講座』承ります！

認知症作業療法推進委員会 清野 敏 秀

山形県作業療法士会では、作業療法士が講師となって認知症の方への接し方や認知症予防の方法などについてお伝えする「認知症出前講座」を開催しております。2013(平成25)年度に4件、参加者98名から始まり、2018(平成30)年末までに236件、約6700名の県民に認知症出前講座をお届けしたことになります。

地域のサロンや認知症予防教室、老人クラブや各種団体の研修会等で開催することが多いです。他にはサロン等の運営担当者向けであったり、ケアマネジャーや施設の介護職員等の専門職向けに開催することもあります。

講師は当会の作業療法士が務めます。講師料や交通費は、主催者様にご負担をお願いしておりますが、スライド資料や配布資料は、当会で準備いたします。認知症に関連することなら、ご依頼に応じて柔軟に対応しますので、サロンや勉強会、研修会等にどうぞご活用ください。



酒田市での出前講座の様子



庄内町施設での講演



認知症予防に関する講演場面



研修会での講演

様々な地域・場面で
ご活用いただいています！

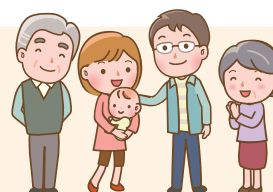
出前講座の内容

- ・認知症とはどんな病気？症状？
- ・認知症の方への関わり方は？
- ・認知症にならないために、認知症を予防するために
- ・自分たちでできること
- ・認知症？と思ったら
- ・認知症初期集中支援チームについて



参加者の声

- ・とても分かりやすかった、理解が深まった
- ・接し方を聞いて良かった
- ・もっと早く聞いていれば、母の介護に活かせたかもしれない
- ・若い人にも聞いてほしい



などなど



山形県作業療法士会で作成した
『認知症あるあるリーフレット』

山形県作業療法士会では、認知症になっても住み慣れた地域でその人らしい生活を送っていただけるよう、様々な取り組みを行っています。今後も『認知症出前講座』をどうぞご活用ください。ご依頼をお待ちしております。

申し込み方法

山形県作業療法士会ホームページ(<http://yamagata-ot.jp>)の右側にある「地域ケア会議・総合事業派遣申込」をクリックし、『地域ケア会議・日常生活支援総合事業等作業療法士派遣申し込み書』をダウンロードした後、必要事項をご記入いただき各支部担当者へお申し込みください。

File.08

作業療法士を目指したきっかけはなんですか？

高校生の時に、祖父が脳血管障害で入院した際に作業療法士の存在を知ったことが始まりです。

今はどんなお仕事をしていますか？

脳血管障害、がん、骨折、呼吸器疾患や循環器疾患等で病院に入院されている方や、外来通院されている方に作業療法を提供しております。私の手を携えながらの運動や、生活に関係する動き方の練習以外に、自身の生活や生きがいに対する考え方を一緒に確認し、障害がありながらも自分らしく生きる手段を考えるお手伝いをしております。



菅原陽平さん
病院勤務（酒田市）7年目

やりがいとは？

楽しい事だけではなく、時に命の終わりまで関わらせていただくこともあります。そんな中でも、昨日までできなかった事が今日ではできた、骨折治癒後に大会で優勝した、車椅子でもご家族と一緒に大好きな買い物ができた、施設で生きがいの歌を歌えているといった報告のほか、最期まで生き様を力強く刻もうとする時間を共有できた時、たいへん豊かな気持ちになれます。自身の生きがいにもなる仕事だと思います。

File.09

作業療法士を目指したきっかけはなんですか？

以前は全く畑違いの仕事をしていたのですが、電車の中刷りに“作業療法士”というワードを見つけ調べてみたところ、それまでのリハビリ職に対するイメージが変わったのを覚えています。生活を見据えて関わっていく所に魅力を感じ目指したいと思いました。

今はどんなお仕事をしていますか？

精神・認知機能の障害によって生活に支障のある方々に対し、体操などの軽運動やゲームといったプログラムを介して、機能の向上、体力の回復、対人関係技能・作業能力・生活リズムの改善などを図り、心身の安定に繋げるよう支援させていただいております。



松村憲一郎さん
精神科病院勤務（米沢市）11年目

やりがいとは？

日々の作業を介して関わっていく中で、少しずつ表情や行動に快方への変化が表れ始めたときは、慎重に作業の負荷を調整しつつも「よしっ」と思います。

毎年夏に作業療法体験見学会を開催しています。興味のある方はぜひ参加してください。

第29回東北作業療法学会 地域共生社会に向けて ～みんなで創ろう、支え合う地域～

開催日時

2019年6月22日(土)～23日(日)

会場

山形国際ホテル 3階富士の間

『山形駅から徒歩6分』

〒990-0039 山形県山形市香澄町3-4-5

TEL:023-633-1313



特別講演・シンポジウム

6月22日(土) 14:30～17:10

「地域共生社会に向けて」

講師

堀田 聡子 氏(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授)

シンポジスト

渡邊 忠義 氏(NPO法人 アイ・キャン施設長 作業療法士)
「精神障がい者の立場から」

山名 康子 氏(認知症の人と家族の会山形県支部 世話人代表)
「認知症者の立場から」

阿部 忍 氏(朝日町立病院 作業療法士)
「障がい児の立場から」

齋藤 直希 氏(政策研究ネットワーク山形 運営委員)
「障がい者の立場から」

一般 参加費 2,000円

公開講座

6月23日(日) 11:00～12:20

「認知症の人と共にいけること」

講師

林 博史 氏(山形大学医学部精神医学講座 准教授)

富樫 智宏 氏(家族の立場から)

一般 参加費 無料

学会お問い合わせ

第29回東北作業療法学会
学会事務局:山形大学医学部附属病院
リハビリテーション部 佐々木健
Tel: 023-628-5718
Mail: yot-conference@work.odn.ne.jp



一般社団法人
山形県作業療法士会
Yamagata association of occupational therapists

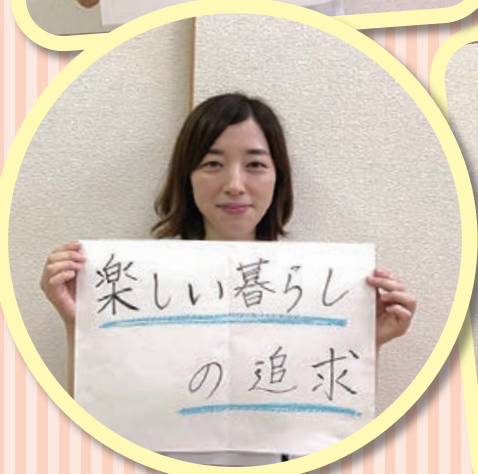
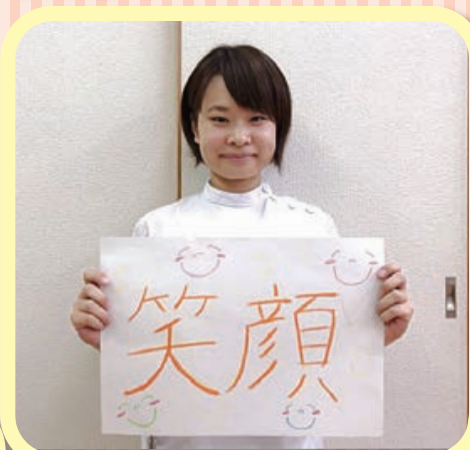


Facebook開設しております。
『第29回東北作業療法学会』で検索!
皆様、『いいね!』をよろしくお願いします。

名義後援団体

山形県 山形市 山形県医師会 一般社団法人山形県歯科医師会 一般社団法人山形県薬剤師会 公益社団法人山形県看護協会 公益社団法人山形県栄養士会 一般社団法人山形県歯科衛生士会
社会福祉法人山形県社会福祉協議会 社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会 山形県精神保健福祉会連合会 一般社団法人山形県老人福祉施設協議会 山形県老人保健施設協議会
一般社団法人山形県介護支援専門員協会 一般社団法人山形県理学療法士会 一般社団法人山形県言語聴覚士会 一般社団法人山形県介護福祉士会 一般社団法人山形県社会福祉士会
山形県医療ソーシャルワーカー協会 山形県精神保健福祉士協会 山形県相談支援専門員協会 公益社団法人認知症の人と家族の会山形県支部 山形県地域包括・在宅介護支援センター協議会
山形県特養家族会連絡協議会 社会福祉法人山形県社会福祉事業団 公益社団法人山形県私立幼稚園・認定こども園協会 山形県保育協議会 山形県教育委員会
公立大学法人山形県立保健医療大学 学校法人諏訪学園山形医療技術専門学校 NHK山形放送局 株式会社山形新聞社(山形新聞・山形放送)
株式会社山形テレビ 株式会社テレビユー山形 株式会社さくらんぼテレビジョン 株式会社エフエム山形 一般財団法人山形コンベンションビューロー

私にとって作業療法とは…



ほっOT!

広報誌「ほっOT!」について
～作業療法の由来と特徴?～ (“ほっと”と呼んでください)

旧来より、人間は様々な「作業」をすることでその営みを発展させてきました。18世紀になるとそれを治療的に利用するようになり、その取り組みから作業療法「occupational therapy」が生まれています。

現代では作業療法に求められることも多様化しその治療は様々になってきていますが、「作業」本来の持つ効果を生かしていることには代わりありません。例えば、手工芸や木工のような生産的な作業や、日常生活上の様々な動作、音楽やゲーム、遊びのような活動も治療の手段になります。好きな作業や遊びなどを通して、気分が落ち着いたりさわやかな気持ちになったことはありませんか?「作業」にはそんな不思議な力があるのです。そんな作業療法が抱く、温かさ、ほっとするところを感じていただけたらとの想いから、本誌名を「ほっOT!」と名付けました。「ほっOT!」今後ともよろしく願いいたします。

**編集
後記**

今回もたくさんの方からご協力いただき『ほっOT!』を発行することができました。「平成」最後となった今年、広報部では日本作業療法士協会における「作業療法の定義」改定を受け、『山形県版作業療法ガイド』の作成にも取り組んでいます。少ない人数での作業になりますが、今後も新しい時代で作業療法士が活躍する様子を発信していければと思います。



一般社団法人 山形県作業療法士会

<http://yamagata-ot.jp> 「ほっOT!」のバックナンバーもあります!

『作業療法士は皆さんの身近な病院や施設で働いているリハビリの専門家です』

表紙モデル/秋山大輔さん(作業療法士)
写真は退院後の一人暮らしに向けて調理の練習を行っている一場面です。